

学びのデザインシート（本時）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【地理歴史／地理総合】

1. 対象

ペアワークや作業の時は集中して行うことができる。

2. 単元名「地球的課題と国際協力」（全 10 時間）

3. 単元の目標

知識及び技能	地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観することができる。
思考力，判断力，表現力等	地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。
学びに向かう力，人間性等	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うことの大切さについての自覚などを深め 養っている。

4. 言語活動

- ・グループ内での意見交流、資料読解中の対話

5. 本時の目標

- ・南北問題が環境破壊・人権侵害と関連しながら起こっていることを理解している。また、これは環境保護のためのものであっても起こりうることを理解している。
- ・地球的課題の要因及び解決の難しさを経済・人権・環境問題など多面的な視点で考えることができる。

5. 授業展開

解決したい課題や問い

クリーンエネルギーはわれわれに何をもたらすのか！？

考えるための材料

- ①電気自動車の資源の産出地域（生徒による地図化作業）
- ②レアメタルに関する講義内容（地図化した地図及び講義）
- ③レアメタル採掘における問題点（動画視聴及び資料提示）

想定される活動

- ・クリーンなものでも、そのためには「資源」が必要であること
- ・誰かの犠牲のもと、自分たちが先進的な生き方をしているのか！
- ・とはいえこの資源がないと我々は今の生活ができないため、手放すことも難しい（SDGs の解決の難しさ、問題の複雑さに気づく）

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

<方法>

★は生徒の想定される発言（授業参観シートの「想定」にあたります）

【班活動】5～10 分

- ・「電気自動車の利用・開発」は人間・自然それぞれに対してどのようなメリット、デメリット をもたらすかを 考え、シートに付箋を貼る
- ※一部は事前にかけてあるので、述語を記入する
- ※興味深い視点があれば共有する

★「二酸化炭素を出さないんじゃない？」「デメリットが全然分からないな…」

【班（個人）活動】20 分

- ・ Q1. 電気自動車は何からできているのか？原料を調査しよう！
→教科書・資料集・Chromebook を活用し、調査する
※状況を見て教員による支援（時間がかかりそうであれば、原料の指定をする）
※コバルトは必ず指定する
- ・ Q2. その資源はどこで取れるのか？
→産出上位 3 カ国を調査し、白地図に着色する

【講義】5～10 分

- ・レアメタル・レアアースの説明
→偏在している資源であることを作成した地図で確認する
→電気自動車のみならずスマホ・太陽光発電などでも必要
＝需要は多い（特に先進国で）が供給には限界がある（途上国で供給）

★「資源は途上国にあるけど、需要は先進国にある…？」

【班活動】5～10 分

- ・採掘方法を動画で見してみる（コバルトの採掘に関する動画および資料配布）
→劣悪で低賃金な労働環境・児童労働などが起こっていることを確認

★「全然環境保全できてないじゃん！」

- ・作業と動画の視聴・資料読解を踏まえて改めて最初のシートに付け足していく
（人間は先進国・途上国などの「立場」を考えさせる）

★「メリットが先進国の人にとってしかない」「途上国の人々にメリットある？」

★「環境にも人間にも良くないじゃん…」

【個人活動】5 分

- ・最初の問いに対して個人で回答する（Google Forms を使用）。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・二酸化炭素削減はもたらすかもしれないが、それ以外のデメリットも多くもたらしている。
- ・石油の使用から脱却するが、他の資源への依存をもたらす。
- ・一部の人にとってのメリットをもたらすが、それは多くの犠牲をもたらす。